

# プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

定員32名で実施中

## 1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」を12月13日(日)まで、「鳥取の星空(4K リマスタリング版)」を12月16日(水)から投影します。プラネタリウム室の換気設備が強化され、定員がこれまでの24名から32名になっています。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### テーマ番組・オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」12月13日まで投影

ハッブル宇宙望遠鏡の活躍を描いたオリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」は、12月13日までです。12月16日(水)からは、オリジナル番組「鳥取の星空(2018年制作番組を4K化)」を投影します。「星取県」の美しい星空を、たっぷりご覧ください。

## 2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

定員32名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を32名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 でおこないますので、ご了承ください。4階観測室の換気設備が強化され、定員がこれまでの24名から32名になっています。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)は予約日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



### 12月の注目天体情報

#### ☆テレビ観望システム

「3密」軽減と天体観察会の魅力アップのために導入した「テレビ観望システム」。3密が予想される毎週土曜日の観察会は、103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。

#### ☆見ごろの星座

見ごろの星座は「おひつじ座」です。黄道十二星座(星占いに登場する星座)のトップを務める星座ですが、明るい星が少なく見つけるのも結ぶのも難しい星座です。うお座にいる火星からたどるのがいいでしょう。

#### ☆冬の星の先駆け「すばる」が見ごろ

12月になると、東の空には冬の星たちが見えています。その先駆け的な存在が「すばる」です。目でも見える星団ですので、まずは肉眼で探してみましょう。すばるは「むづらぼし(六連星)」とも呼ばれ、条件が良ければ肉眼でも6つの星が集まっているように見えます。

すばるは「おうし座」の中にある星団で、すばるの西側(右側)が今月の見ごろの星座・おひつじ座のしっぽになります。

#### ☆火星&天王星

2020年10月6日に地球に最接近した火星。最接近のころよりは暗くなりましたが、まだまだ観察できます。近くに天王星もありますので、103cm大型望遠鏡で観察してみましょう。



観察会のイメージ

